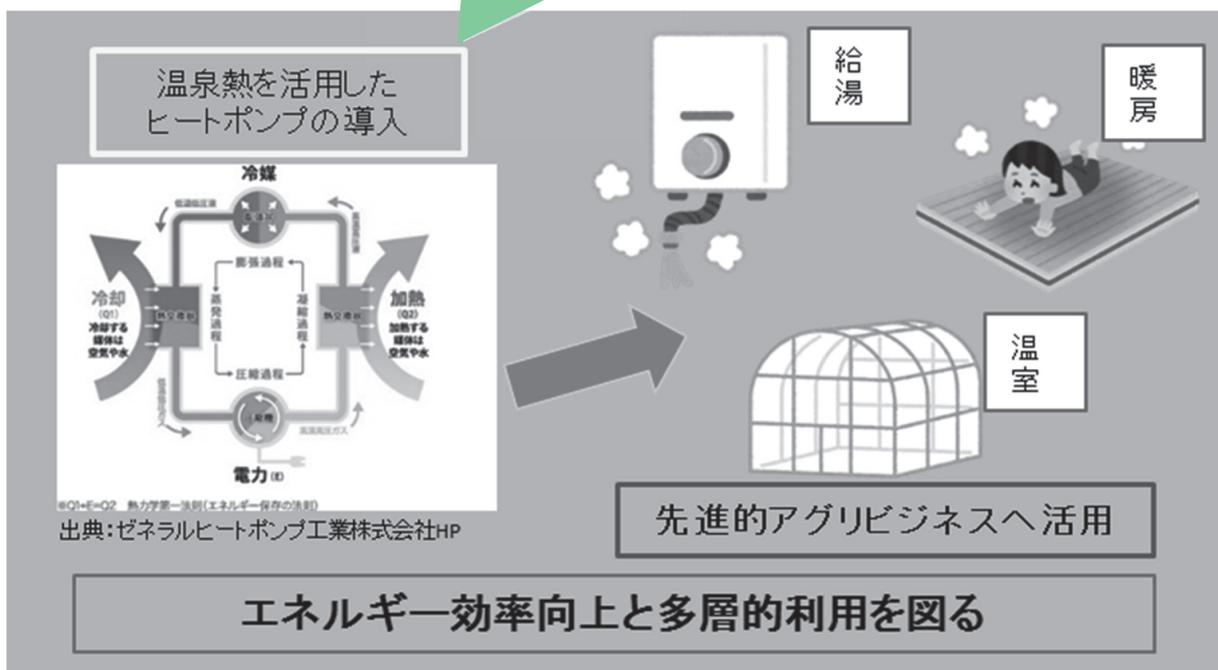
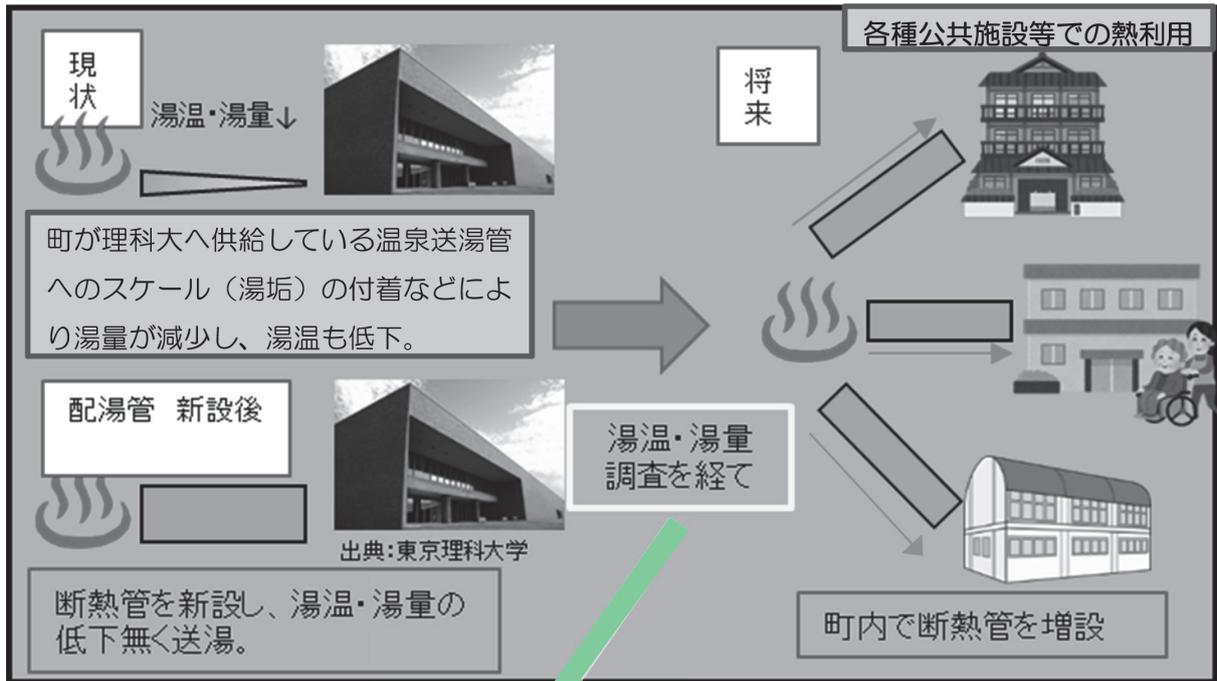


長万部町の再生可能エネルギーの活用 町の資源を活用して一体何ができるのか？

長万部のポテンシャル 温泉熱の有効活用



内閣府採択プロジェクト 長万部地方創生事業

「長万部町、東京理科大学、地方創生事業コンソーシアムの連携による再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクト」の取組を図解しました。今後も、進捗報告と事業展開について、定期的に情報発信していきます。よろしくお願ひ致します。

エネルギーの地産地消 再エネ固定価格買取制度も活用

太陽光発電

- ・北海道電力への連系申請済み
- ・「改正再エネ法(改正FIT法)」を受けて、平成29年3月に連系時期の目途が立つ見込み。



小水力発電

- ・潜在力あり(河川の流量、勾配など)
⇒流量計測から正確な流量を把握し概略設計へ(平成30年完工を目指す)



地熱発電など

ひきつづき検討

更に

木質バイオマス発電

未利用材供給の確保・主伐材利用先の確保が不可欠で、完工までに5年程度を要す見込み

主伐材で町内施設の木造化

間伐材をバイオマス発電に利用



地域森林資源の整備にも貢献



新幹線駅及び周辺開発も「CLT」活用で耐震性・耐火性を有する建築が可能

※CLT・・・板の層を各層で互いに直交するように積層接着した 厚型パネルのこと